

平成31年度 さいたま市立三橋中学校 学校だより



架け橋

第1号

(平成31年4月8日発行)

ホームページ: <http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail: mihashi-j@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 : ゆたかに・かしこく・たくましく

「令和」の時代を担う皆さんへ

—ご入学・進級おめでとうございませう—

校長 井山 直之

4月1日付けで、永岡 良規前校長先生の後任として、さいたま市立三橋中学校の校長に着任いたしました、井山 直之（いやま なおゆき）と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日、希望に満ちた135名の第72回新入生を迎え、2年生170名、3年生149名、全校生徒454名による平成31年度が始まりました。三橋中学校の生徒の皆さん一人ひとりの成長を大いに期待しています。

先日、5月1日からの新元号は「令和（れいわ）」と発表されました。この元号は、「万葉集」の「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、・・・」が典拠とされました。その中には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味等が込められているそうです。新年度を迎えた生徒の皆さんも、一人ひとりがもつ可能性の花を大きく咲かせ、力を合わせて素晴らしい三橋中文化を築いていきましょう。

さて、中学生時代は、皆さんが将来健康で豊かな生活を送る基礎を築く上で、大変重要な時期です。そこで、本校の学校教育目標「ゆたかに・かしこく・たくましく」に関連して、全校生徒の皆さんに、ぜひ身に付けてほしい「4つの力」についてお伝えします。

一つ目は、「相手の立場に立って考え、温かさをもって行動できる力」です。お互いに認め合い、相手に対する思いやりと温かさをもって行動し、一人ひとりが生き生きと活躍できる学校にしましょう。

二つ目は、「自ら考え、進んで学び、粘り強く挑戦する力」です。学習や運動等に自分の目標をもって主体的に取り組み、たとえ苦手なことでもその達成に向けて根気強く取り組めるようになってください。

三つ目は、「心身を鍛え、自分の長所を伸ばせる力」です。進んで心や体を鍛えるとともに、自分の良さに気付きそれを伸ばし、夢や希望をもって生活してほしいと思います。

四つ目は、「集団の一員として活動し、協力することができる力」です。あいさつを進んですることや対話力など、より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身に付けてください。

いずれにしろ、中学校生活を充実させるためには、何事も自分で考えて判断し行動する「自主性」が大切です。そして、それ以上に重要なことは困った時や悩み事があったら、友だちや保護者の方、そして先生に積極的に相談することです。周囲の人は必ず力になってくれます。「自主性と相談」この二つを大切にしながら、明るく楽しい中学校生時代を送ってほしいと思います。

創立72年目を迎えるこれまでの輝かしい伝統を受け継ぎ、この三橋中学校のより一層の発展を目指し、教職員一同、日々の教育活動に全力で取り組んでまいります。

諸先輩方、保護者の皆様、地域の皆様方におかれましては、三橋中学校の教育へのご理解・ご協力と、日々成長する三橋中生へのご支援を、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。